

「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと(仮)”」設立準備会実施計画(案)

ピースくまもと設立準備事務局会

1 趣 旨

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語れる人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。

私たちピースくまもと設立準備会事務局は、これまで新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」並びに「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の大切さ認識し、戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承を、さらに県内に残された戦争遺跡の調査保存、戦時資料の調査や公開、戦争遺産を通しての地域づくりを進めてきました。

本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、次の三つの柱から、いま熊本に平和のミュージアム設立の必要性を痛感しました。

- (1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承する熊本空襲資料館が必要である。
- (2) 熊本の戦争の歴史とその遺産を学ぶダークツーリズム資料館が必要である。
- (3) 次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”戦時資料館が必要である。

今回、私たちは設立骨子・活動方針(案)等を取りまとめ、「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと(仮)”」設立準備会を発足させます。

2 日 時：平成30年5月13日(日)午後2時から4時半頃まで

3 場 所：熊本県民交流会館「パレア」第1会議室・120人

4 概 要

(1) 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会代表 ○○

(2) 「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと(仮)”」
設立準備会について
準備会設立の経緯、骨子(案)、事務局会体制
……ピースくまもと設立準備事務局長 ○○

(3) 意見発表

① 「熊本空襲を未来に継承する(仮)」 ○○(新老人の会)

② 「熊本の戦争の歴史とその遺産に学ぶ(仮)」 ○○(フォーラムくまもと事務局)

③ 「次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”戦時資料(仮)」
宇城市 上村真理子さん

[休憩・会場づくり]

(4) ワークショップ・意見交換 テーマ「ピースくまもと(仮)」に望むこと
参加者の小グループ編成、進行・取りまとめは熊本市地域づくり担当職員に依頼

(5) 意見の紹介・集約、設立準備会の発足議決

……ピースくまもと設立準備事務局次長 ○○

(6) 閉会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会副代表 ○○

5 その他・準備等

○昭和初期に日米友好と平和の証として米国から日本に送られた“青い目の人形”「鏡小学校のベティジェーン」の展示

○「ピースくまもと(仮)」設立準備会の発足チラシ、設立骨子(案)

○上村さん他の発表資料、受付名簿・班編制表、PC、プロジェクター、スクリーン借用

○参加案内、参加体制、報道案内 他

問い合わせ先・連絡先

ピースくまもと設立準備会事務局

安藤富士記宅 〒861-8005 熊本市北区龍田陳内3丁目24-21

電話 096-339-2537

高谷和生宅 〒865-0061 玉名市立願寺126-5

個人携帯 090-1513-5528



青い目の人形「ベティジェーン」八代鏡小